

【第2号報告】令和元年度 事業報告について

令和元年度事業報告

1 総会・専門部会の開催

(1) 総会

大分県医療ロボット・機器産業協議会の事業計画等を会員へ報告するため総会を開催した。

※医療関連産業参入促進セミナー（第1回）と同日開催

開催日：令和元年7月4日（木）17：30～17：50

場 所：レンブラントホテル大分

参加者：約120名

(2) 看護関連機器開発部会

「我慢させない看護」の実現に向けて看護関連機器開発を促進するため、看護関連機器開発部会（部会長：大分県立看護科学大学 看護研究交流センター 影山教授）及び関連事業の開催を進めたが、新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえ、中止した。

〔中止した行事〕

看護関連機器開発部会

開催日：令和2年3月24日（火）15：30～16：30

場 所：大分県庁舎 新館 14階 大会議室

看護関連機器開発部会関連事業 看護関連機器説明会

開催日：令和2年3月16日（月）9：30～11：00

場 所：大分県立看護科学大学

(3) 介護・福祉関連機器開発部会

東九州メディカルバレー構想の更なる推進に向けて、県内の産学官が連携した高齢者や障がい者の自立支援及び介護現場の生産性向上に貢献する機器開発を促進するため、介護・福祉関連機器開発部会（部会長：大分大学理工学部 今戸教授）及び関連事業の開催を進めたが、新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえ、中止した。

〔中止した行事〕

介護・福祉関連機器開発部会

開催日：令和2年3月13日（金）15：00～16：30

場 所：レンブラントホテル大分 瀬戸の間

介護・福祉関連機器開発部会特別講演会

開催日：令和2年3月13日（金）13：30～14：40

場 所：レンブラントホテル大分 二豊の間

演 題：「福祉用具開発最前線－良質な情報で、喜ばれる機器開発を－」

講 師：特定非営利活動法人 NPO 福祉用具ネット

副理事長兼ものづくり支援センター長 坂田 栄二 氏

2 医療関連産業新規参入促進セミナー等

(1) 医療関連産業参入促進セミナー

医療機器産業への新規参入事例や法規制に係る人材育成のため、医療産業参入促進セミナーを開催した。

●医療関連産業参入促進セミナー（第1回）

医療イノベーションや産学官連携、会員企業による参入事例を内容としたセミナーを開催した

日 時：令和元年7月4日（木） 15：20～17：20

場 所：レンブラントホテル大分

参加者：約130名

概 要：

講演Ⅰ 日本発医療イノベーションのグローバル展開の挑戦

株式会社 日本医療機器開発機構（JOMDD）

取締役 CBO 石倉 大樹 氏

講演Ⅱ 県内企業による医療関連機器の研究開発事例 排泄支援装置の開発と今後の挑戦について

シェルエレクトロニクス株式会社

代表取締役社長 森竹 隆広 氏

講演Ⅲ 「作ったけど売れない」を終わらせる新しい産官学連携—それが MedTech Links

一般社団法人 MedTech Links

代表理事 植村 宗則 氏

●医療関連産業参入促進セミナー（第2回）

医療機器開発で多重化する業務の中、組織力でいかに開発を推進するかについてのセミナーを開催した。

日 時：令和元年9月17日（火） 14：30～15：45

場 所：トキハ会館

参加者：約50名

概 要：

講演 フクダ電子における医療機器開発の現状と変遷する内外規制への対応～限られた人的資源で効率的に開発するには～

フクダ電子株式会社

執行役員 開発本部 開発管理室長 斎藤 浩一 氏

●医療関連産業参入促進セミナー（第3回）（後掲）

東九州メディカルバレー構想推進大会の開催に併せて、参入促進セミナーを開催した。

(2) 東九州メディカルバレー構想推進大会

東九州メディカルバレー構想の具体化を図ることにより、産業の集積と地域の活性化を一層推進するため、大分大学及び東九州メディカルバレー構想推進会議と共催で構想推進大会を開催した。

●医療関連産業参入促進セミナー（第3回）

東九州メディカルバレー構想推進大会の開催に併せて、参入促進セミナーを開催した。

開催日：令和2年2月12日（水）

場 所：レンブラントホテル大分

参加者：約130名

概 要：

第1部 基調講演

講演Ⅰ

演題 ヘルスケア技術の現状と将来 ―血圧計開発を中心として―

講師 オムロンヘルスケア株式会社

開発統轄本部 本部長付 学術戦略担当 R&D フェロー

志賀 利一 氏

講演Ⅱ

演題 これからの産学連携、東九州メディカルバレー構想への期待

講師 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 産学連携部 部長

竹上 嗣郎 氏

第2部 医療関連機器産業参入促進セミナー 17:05～17:40

演題 リアルライフを変えるヴァーチャル ～VRによる身体機能回復への挑戦～

講師 株式会社mediVR Chief Technology Officer

榛葉 喬亮 氏

3 医療・福祉機器等機器開発ワーキング

(1) ニーズ探索会（年3回）

会員企業の新規の機器開発案件を探するため、医療機関等と連携してニーズ探索会を実施した。

●大分大学医療機器ニーズ探索交流会（第1回）

〔1日目 施設見学会等〕

開催日：令和元年7月3日（水） 14:30～18:30

場 所：大分大学医学部附属病院

参加者：約130名

概 要：

病院施設見学会（手術部・ICU、放射線部、内視鏡部・血液浄化センター）、スキルスラボセンター実習機器体験会、情報交換会（名刺交換会）

〔2日目 ニーズ発表会〕

開催日：令和元年7月4日（木） 13：15～15：00

場所：レンブラントホテル大分

参加者：約90名

概要：

医療現場で収集した機器開発ニーズの中から、16件のニーズを発表（大分大学医学部附属臨床医工学センター 穴井教授 他）

●介護・福祉ニーズ探索交流会 in 別府リハビリテーションセンター

開催日：令和元年8月30日（金）14：00～17：00

場所：社会福祉法人農協共済 別府リハビリテーションセンター

参加者：約70名

概要：

介護・福祉現場で収集した機器開発ニーズの中から、20件のニーズを発表（別府リハビリテーションセンター医師、理学療法士、作業療法士 他）

●大分大学医療機器ニーズ探索交流会（第2回）

開催日：令和元年11月27日（水）13：30～17：45

場所：大分大学医学部附属病院

参加者：約50名

概要：

ニーズ発表、病院施設見学会（手術部・ICU、放射線部、スキルスラボセンター）&個別相談会、情報交換会（名刺交換会）

（2）医療関連機器開発ビジネスマッチング会

九州ヘルスケア産業推進協議会、福岡県・宮崎県との連携の下、大分大学医療機器ニーズ探索交流会の開催に併せて、医療機器メーカーと県内ものづくり企業とのマッチング会を開催した。

熊本県及び宮崎県の団体と連携し、医療機器メーカーへの展示・商談会の開催し、本郷地区を中心とした医療機器製造販売企業等とのビジネスマッチング会を実施した。

●医療関連機器開発ビジネスマッチング会

開催日：令和元年7月4日（木）9：00～12：00

場所：レンブラントホテル大分

参加者：46名（うち医療機器メーカー4社）

概要：合計24件の個別面談による意見交換を実施

●熊本・大分・宮崎 医療機器メーカーへの展示・商談会 in 本郷

開催日：令和元年12月13日（金）他

場所：医科器械会館（東京都）

参加企業：7社（開催後の単独マッチングも含む）

(3) 臨床ニーズブラッシュアップ

大分大学医療機器ニーズ探索交流会（第2回）において、九州内で活動する医療機器開発に係るコーディネータ6名と連携し、大分大学医学部が保有する臨床ニーズのブラッシュアップを行うとともに、大分大学医学部とものづくり企業とのマッチングを実施した。

(4) 医療機器規格等取得支援補助事業

医療・福祉機器の開発を促進するため、ISO13485、CEマーキング等の認証等に要する経費に対し助成を行う事業を公募したが、応募はなかった。

(5) 機器開発ワーキンググループ

開発ニーズと会員企業とのマッチング率を向上させるため、ニーズを元に機器開発を行うワーキンググループの活動を支援し、必要な費用に対する助成を行った。

また、ワーキンググループ活動の効果的に行うため、ワーキンググループの組成や活動に対する支援の運営について、企業支援を行う事業者へ委託した。

1 新型トレッドミルを中心としたロボットスーツHAL®関連機器の研究開発

実施主体 タカキ製作所株式会社（平成31年4月～）

2 歩行器の電動化装置「B-GO」の改良

実施主体 株式会社ブライテック（令和元年5月～）

3 補助ヘリポートの状況を確認するシステムの運用検証

実施主体 株式会社スカイテクノロジー（令和元年9月～）

4 ユーザビリティ・効果を満足させる穿刺痛緩和装置の冷却棒の形状・サイズの研究

実施主体 大分紙業株式会社（令和元年9月～）

5 現場使用での評価リサーチによる排泄支援装置「esコート」の新たな活用の検討

実施主体 シェルエレクトロニクス株式会社（令和元年12月～）

6 硬性内視鏡洗浄カバーの開発

実施主体 株式会社トライテック（令和元年12月～）

(6) 医療機器開発人材育成支援事業

県内での医療機器開発を促進するため、会員中小企業によるMDIC認定取得に要する経費の一部を助成した。

○MDIC認定取得支援補助

大分紙業株式会社 2名

4 研究開発補助事業

(1) 現場ニーズ試作品開発補助事業

【実施状況】

事業化有望な現場ニーズについて、研究開発や事業化を目指す会員企業が行う医療関連機器の試作品開発に要する経費に対し助成を行った。

	企業名	テーマ名
1	日本ヒューマンメディク株式会社	整形外科用リストスプリント
2	シェルエレクトロニクス株式会社	見守りでの音響による空間計測センサーの試作品開発

(参考)

日本ヒューマンメディク株式会社が開発した「左右兼用手首サポータ」(整形外科用リストスプリント)は、大分県が行う令和元年度特許チャレンジコンテストにおいて、優秀賞を受賞

(2) 医工連携研究開発推進補助事業

大学、医療機関及び県外企業等と連携した、会員企業が行う新たな医療関連機器等の研究開発に要する経費に対し助成を行った。

	企業名	テーマ
1	株式会社オーイーシー	ひとの尊厳を守る 徘徊防止支援サービスの開発
2	トクソー技研株式会社	軽量・コンパクト・静音タイプの携帯式吸引器の研究開発
3	株式会社AKシステム	高機能かつ屋外利用可能な車いす用後付式足こぎユニットの研究開発
4	有限会社大分サーバー	要介護者の「夜間」徘徊を「AI 顔認証」によって早期に検知する全天候型顔認証徘徊防止システム「顔パス2」

(3) 医療機器認証等取得支援補助事業

会員企業が開発した医療機器について、認証・承認の取得に係る経費に対し助成を行う事業を公募したが、応募はなかった。

5 専門家派遣事業

(1) 大分県医療機器開発アドバイザー派遣

機器開発から販路開拓までの各分野の専門家をアドバイザーとして委嘱し、会員企業の参入ステージに応じたアドバイザーを派遣し、医療機器産業への参入についてのハンズオン支援を行った。

○池田 喜一 氏（元 独立行政法人産業技術総合研究所 産学官連携推進部門コーディネータ）

○吉田 安幸 氏（元 旭化成株式会社 専務取締役）

※吉田氏については、3月の派遣を予定したが、新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえ、中止した。

(2) 専門家派遣

医薬品医療機器等法に係る専門家（コンサルタント）を派遣又は相談会を開催し、薬事に関する法規制等への対応を支援した。

【派遣した専門家】

(1) 医工連携の広報活動

株式会社日本医工研究所 取締役 長谷川 裕美 氏

(2) 医療関連機器のポスター作成（Web 会議）

一般社団法人 日本医療デザインセンター 代表理事 桑畑 健 氏

6 販路開拓・拡大事業

(1) おおいた産医療関連機器導入推進補助事業

会員企業が開発・製造する医療関連機器の医療・福祉現場への導入を促進するため、県内医療・福祉機関が新たに機器を導入する経費等に対し助成を行った。

登録機器：43機種（H30年度23機種）

導入施設：県内の医療・福祉施設 延べ26施設（H30年度延べ20施設）

(2) 展示・商談会等

東九州メディカルバレー構想の情報発信、会員企業が開発した医療関連機器の販路開拓、会員企業と製造販売企業とのマッチングのため、宮崎県・HAMIQ等と連携し、展示会・商談会等に参加した。

〔HAMIQ等との連携事業〕

○第46回国際福祉機器展 H. C. R 2019

会期：令和元年9月25日（水）～27日（金）

場所：東京国際展示場「東京ビッグサイト」（東京都）

出展企業：8社

株式会社AKシステム、ケイ・デザイン、株式会社エイビス、
有限会社大分サーバー、株式会社ブライテック、ヘルメット潜水株式会社、
トクソー技研株式会社、シェルエレクトロニクス株式会社

〔協議会単独出展〕

○第37回大分県病院学会

会期：令和元年11月17日（日）

場所：別府コンベンションセンター（別府市）

出展企業：7社

ケイ・デザイン、ヘルメット潜水株式会社、株式会社AKシステム、株式会社キューメイ研究所、株式会社座坐ベール、株式会社エイビス、株式会社デンケン

○第30回全国介護老人保健施設記念大会 別府大分

会期：令和元年11月21日（木）～22日（金）

場所：J:COM ホルトホール大分 他（大分市）

出展企業：4社

株式会社AKシステム、有限会社ビューティフルライフ、トクソー技研株式会社、ケイ・デザイン

○熊本・大分・宮崎 医療機器メーカーへの展示・商談会 in 本郷

会期：令和元年12月13日（金）

場所：医科器械会館（東京都）

出展企業：5社

株式会社AKシステム、ケイ・デザイン、シェルエレクトロニクス株式会社、日本ヒューマンメディック株式会社、ヘルメット潜水株式会社

〔中止した行事〕

出展を予定したが、新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえ、延期となった展示会。

○Medtec Japan 2020

会期：令和2年3月16日（月）～18日（水）

場所：東京ビッグサイト 南展示棟（東京都）

(3) 販路開拓支援事業

【実施結果】

会員企業が開発した新機器等の販路開拓のため、展示会等への出展料等に対し助成を行った。

	企業名	展示会・学会
1	日本ヒューマンメディック株式会社	第45回日本骨折治療学会 (R1.6.28～29 福岡国際会議場)
2	株式会社ブライテック	第46回国際福祉機器展 (R1.9.25～27 東京ビッグサイト)
3	ヘルメット潜水株式会社	第30回全国介護老人保健施設記念大会 (R1.11.21～22 J:COM ホルトホール大分 他)

	企業名	展示会・学会
4	トクソー技研株式会社	日本難病ネットワーク学会 (R1.12.3~4 大阪国際会議場)
5	株式会社AKシステム	第29回日本医療薬学会年会 (R1.11.2~4 福岡国際会議場他)
6	有限会社大分サーバー	第46回国際福祉機器展 (R1.9.25~27 東京ビックサイト)

7 コーディネータの配置

(1) コーディネータ配置

会員企業の医療関連機器産業への新規参入をワンストップで支援する体制を強化するため、会員企業による機器開発から販路開拓まで伴走し、フォローするコーディネータ（1名）を雇用した。

8 医療インバウンド推進事業

(1) 医療インバウンド海外展開支援事業

医療インバウンド×HALFIT®® ツーリズムを海外の医療関係者に周知を図るため、Webを用いた情報発信を行った。

その他

○大分大学医学部附属臨床医工学センターが実施する「次世代医療機器連携拠点整備等事業」や、医療ロボットダイバーシティ・HAL 研究会が開催する「医療ロボットダイバーシティ・HAL 研究大会」など、関係団体が実施する事業への連携を行った。

○近隣県の団体と連携を図るため、「医療関連機器ビジネスマッチング会」は宮崎県及び福岡県の団体、「大分大学医療機器ニーズ探索交流会（第2回）」では福岡県、熊本県及び宮崎県の団体、「熊本・大分・宮崎 医療機器メーカーへの展示・商談会 in 本郷」においては熊本県及び宮崎県の団体と連携して実施した。